


 佐賀県立男女共同参画センター
 佐賀県立生涯学習センター

☎ 0952-26-0011

📍 交通アクセス

✉ お問い合わせ

[男女共同参画センター](#)
[生涯学習センター](#)
[DV総合対策センター](#)
[相談する](#)
[図書を借りる](#)
[視聴覚機材や
PCを借りる](#)
[ホールや研修室を
借りる](#)
[トップページ](#) > [男女共同参画センター](#) > [講座レポート](#) > [30年度](#) > [市町職員研修](#) > 平成30年度 市町職員研修を神崎市と嬉野市で開催しました

平成30年度 市町職員研修を神崎市と嬉野市で開催しました

男女共同参画の視点でみる熊本地震 ～今、私たちにできること～ 神崎市・嬉野市

市町行政において男女共同参画の必要性を理解してもらうため、神崎市と嬉野市の職員を対象に「男女共同参画の視点でみる熊本地震～今、私たちにできること～」と題し、研修を行いました。

講師には藤井有貴子さん（熊本県民交流館バリア館長）をお迎えしました。藤井さんは、2016年4月の熊本地震で自らも被災し、当事、熊本市男女共同参画センター「はあもにい」の館長として、被災者支援に取り組んでこられました。

熊本地震の前震（14日）は、自宅が被災、翌日出勤すると、東日本大震災を経験した東北の男女共同参画センターから連絡があったそうです。東北では、今でも性被害にあった人達のカウンセリングをしており、もし動けるのであれば、熊本でそういったことが起きないように、啓発をしてほしいと依頼されたそうです。

それを受け、藤井さんはすぐにDV・性暴力防止のチラシを作成したそうですが、チラシに記載したい相談窓口が被災しており、実際に避難所に掲示ができるまで1週間ほどかかったということでした。

避難所キャラバン（避難所の環境改善のための巡回）を行う中では、いろんな課題が見えてきたとおっしゃいました。様々な対象者（女性、男性、妊産婦、子ども、高齢者、障害のある人、外国人、性的マイノリティの方等）によって困りごとや、必要な支援が異なるため、多様に配慮した支援が必要であると話されました。

また、女性が中心となって避難所運営を行っている避難所は、授乳室や更衣室、物干し場など女性専用スペースが設置されていたり、子どもが遊ぶためのスペースなどもあったことなど紹介され、意思決定の場に女性が参画することの必要性を話されました。

最後に、「男女共同参画の推進は、地域の防災力を高めるために不可欠です。まさかの発災はありません。自分の身は自分で守り、日頃から備えましょう。そして、男女共同参画の視点を持った“絆”をつないでいきましょう。」と呼びかけられました。



◀神崎市 平成30年7月10日（火） 神崎市役所にて▶

～参加者の感想～

- ・支援は一通りではない言葉どおり、様々な立場の人に対し必要な支援が異なることを再認識できました。
- ・行政の視点で1つ1つ例示しながら話をしていたので具体的に私自身何をすべきかが見えてきました。

◀嬉野市 平成30年10月4日（木） 嬉野市役所にて▶

～参加者の感想～

- ・熊本地震の経験をリアルに伝えていただき、私自身取り組むべきことがわかった。
- ・避難所のあり方、あらゆる方に対し、気配り、目配りが必要と感じました。

[アバンセとは](#) | [リンク集](#) | [公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

 佐賀県立男女共同参画センター
 佐賀県立生涯学習センター

 TEL：0952-26-0011
 FAX：0952-25-5591

 〒840-0815
 佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

📍 交通アクセス

✉ お問い合わせ

開館時間

 火曜～土曜日：8時30分～22時00分
 日曜・祝日：8時30分～17時00分
 （ホールは22時00分まで）

休館日

 毎週月曜日（祝日も含む）
 12月29日から翌年1月3日まで

[館内フロアマップ](#)

[施設利用の手続き](#)

[利用料金表](#)

[施設利用Q&A](#)




お問い合わせは
080-4312-4831